



認定NPO法人 大阪府高齢者大学校 広報誌

# おんほー



第60号 2023年7月10日発行



撮影 猿田 茂「尾瀬ヶ原」







左の写真2点は、中村さん撮影の作品。  
下の写真は、「カメラ芸術科」の卒業作品  
として制作されたフォトブック。



中村 また、カメラを学んだからこそ、撮影会や各地に行って写真を撮る楽しみも覚えました。それに、美術館を巡るとその背景である世界史や、音楽などにも興味がわいて勉強したくなります。すべてが繋がっているんですね。

— その探求心が素晴らしいと思います。中でも特に音楽がお好きだとか。

中村 子どもの頃から一番好きなのは音楽です。音楽は生演奏を聴くのが好きなので、今でも月に1回くらいはコンサートに行っています。札幌や東京など、聴きたければどこへでも行きます。ただ、これからは聴くだけではなく、自分でもピアノをやりたいと思っています。

美術館巡りやコンサート以外にも、「醸造を楽しく学ぶ科」で日本酒の味が少しわかるようになったので、青森・新潟・富山などお酒の美味しい土地を旅したり、他にも大阪滋賀県人会の運営委員や、卒業校の同窓会幹事などもしています。正直忙しいのですが、それが元気の源かもしれませんね。

— コロナ禍で旅行や撮影に行けなくなった時期には、ご自宅のDIY（日曜大工）にも挑戦されたそうですね。

中村 今の家屋は築40数年が経過し、リフォームが必要だったので業者に頼むつもりでした。ところが、YouTubeを見ると素人が家をリフォームした動画がいろいろアップされていて、「これなら自分でもできるのでは」と、和室をフローリングの洋間にリフォームしました。

業者に任せるのもいいですが、簡単な修理は自分でやれば楽しいですよ。

— これからやってみたいことはありますか。

中村 海外の美術館巡りを再開したいですね。それと2025年の万博でお役に立つなら、ボランティアをしたいと思っています。

考えてみると、コーダイでの経験と人との交流が、人生を豊かにしてくれていますね。自分にはない才能や魅力のある方から刺激を受けて元気をもらっています。

— 「れいんぼー」でも『大阪の街歩き』のコーナーに原稿を書いています。大阪検定で培った知識や街歩きで得たさまざまな情報、そして確かなカメラ技術など、多彩なご趣味がすべて生かされているような気がします。本日は楽しいお話をありがとうございました。

（文責：広報グループ 野村尚子）

## 第15回通常総会を開催しました

認定NPO法人 大阪府高齢者大学校の「第15回通常総会」が、2023年6月10日（土）13時より大阪市教育会館「なにわの宮ホール」にて開催されました。今年度は新型コロナウイルス感染症について、感染症法上の位置付けが5類に移行された中での開催となりました。

○出席者数：正会員187名中150名【出席者46名・書面による出席104名（委任状18名含む）】

○審議事項：第1号議案 令和四年度活動報告承認の件

令和四年度活動決算報告承認及び監査報告承認の件

第2号議案 役員選任承認の件

第3号議案 定款の一部変更の件

審議の結果、上記議案が可決承認されました。

その後、臨時理事会が開催され、新理事の互選により新理事長に古矢弘道氏を選任。引き続き「令和五年度活動方針及び活動予算」が報告され、第15回通常総会が終了しました。

（総務グループ 田中 昭）



## 2024年度から講座体系が変わります

コーダイでは、年齢にかかわらず学び続けることの素晴らしさを追求し、“大いに学び、大いに愉しみ、少しでも社会に役立つ”をモットーに、well-being（ウェルビーイング）を重視した学習環境を提供しています。現在の講座はSA（シニアアドバイザー）養成講座・本科・実践科の 카테고リーに分類されていますが、次年度からは下表の7つのカテゴリーに講座を分類します。

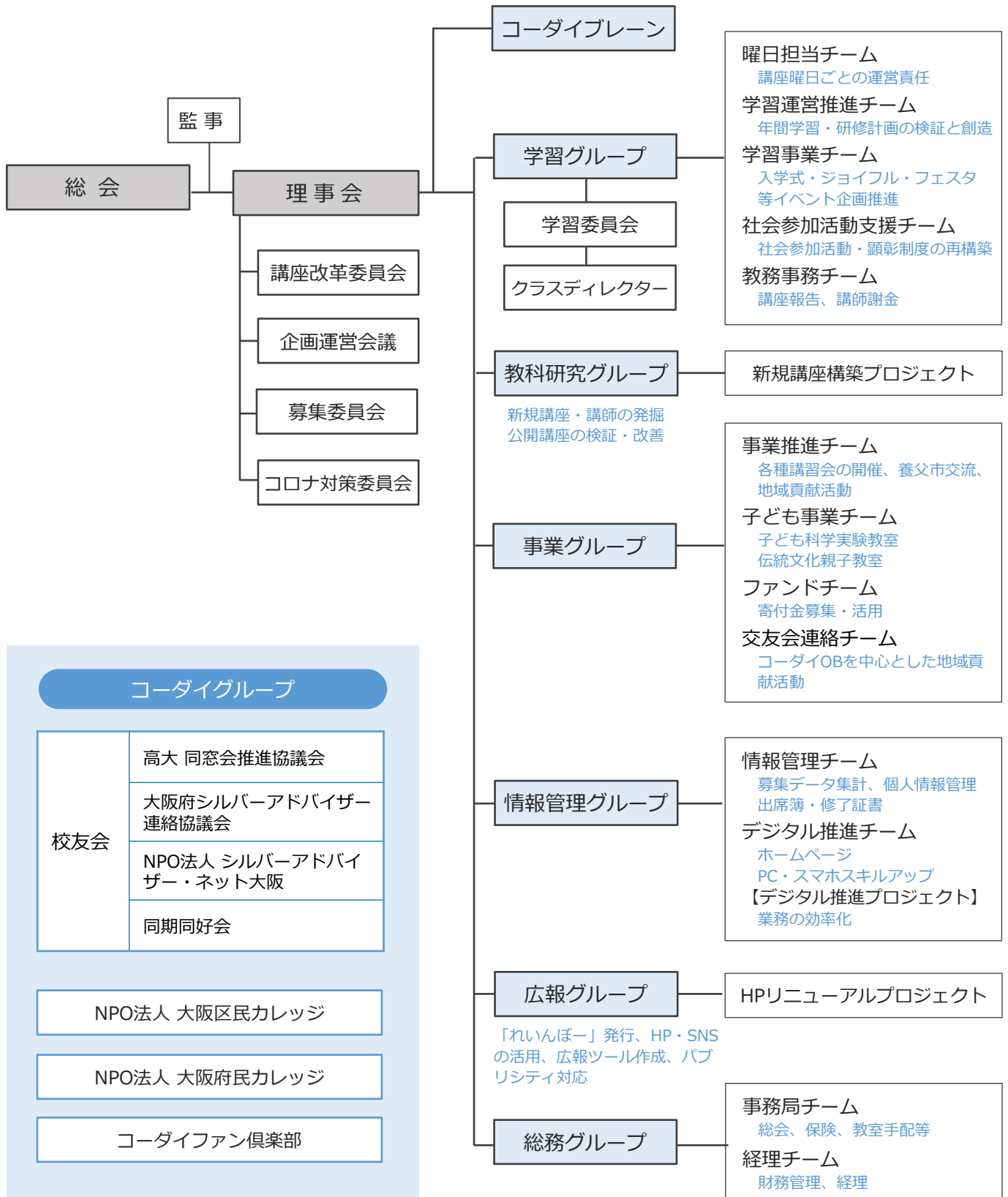
1. 社会参加	社会参加や地域活動に必要なノウハウを学ぶ
2. 教養	もっと知りたい、深く追及したいを学ぶ
3. 関西再発見・探訪	関西の今まで気が付かなかった良さや魅力を学ぶ
4. 自然と環境	自然に親しみ、環境問題などについて学ぶ
5. 健康	健康や体力維持のための知識を学び実践
6. スキル	語学、絵画、IT・パソコンなどの技能を学ぶ
7. 趣味	生きがいや潤いを得るため楽しく学ぶ

10月中旬から2024年度の受講申し込みを受け付けます。皆様のお申し込みを心よりお待ちしております。（教科研究グループ 松川 茂）

# 2023年度運営組織図および業務概要

2023年4月1日

部門制からグループ制に改め、より組織のフラット化・簡素化を進め、活動しやすい体制にしました。





新理事 奥村 俊郎

2015年に入学し「運動・スポーツ・健康科」「醸造を楽しむ科」「和食を愛する科」を受講、その翌年より5年間「和食を愛する科」CDを務めました。2019年には『コーダイフェスタ』の実行委員長として運営に関わってきました。

この度新しい理事となりコロナ禍で変化した社会環境に対応し、CDのみなさんとのコミュニケーションを大切に、受講生のみなさんに寄り添い「ニューコーダイ創造」に向かって取り組んでいきたいと考えています。



新理事 須川 純治

定年が間近に迫ったころ、先輩OBから定年後の過ごし方として某シルバード大学に通い始め、楽しく学べて友達も増えて充実した日々を送っていると聞かされました。やがて自分が退職、コーダイに受講生として積極的に飛び込みました。

3年のCD経験を経て、この度理事に選任していただきました。「コーダイを変える・コーダイが変わる・そして私たちも変わる」のスローガンのもと、何事も前向きに取り組んでいきたいと思っています。



新理事 辻村 富厚

八尾市出身です。2016年に「基礎英会話」を受講、2018年同科のCD、2019年に教務主任を努め、2021年教務部の曜日担当となり、今日に至っております。

コーダイとの関わりは、退職後の人生をさらに豊かに楽しみたいと模索する中、偶然にもその存在を知りえたことから始まりました。今後は健康を保ちながら、コーダイの更なる発展に寄与したいと考えております。



新理事 松川 茂

9年前に「国際文化交流科」の受講生としてコーダイに入学し、その後「中国語」「国際文化交流科」「韓国語」のクラスディレクターおよび教科研究部門で、主に語学分野を担当してきました。

私のモットーは、毎日を明るく、元気にイキイキと楽しく過ごすことです。受講生の方々により充実した学びや交流ができるような環境づくり、講師陣の充実、新しいカリキュラムの開発などを行い、コーダイの発展に貢献したいと思っています。



新理事 多賀 健二

2期生としてBrian先生の基礎英会話科に入学して、受講生・CD・スタッフとコーダイのお世話になりました。コーダイで400人強の仲間ができたことは、私の大きな宝です。

容姿ではなく姿勢として、こうありたいと思う加山雄三氏は、「人生の三カン王といって関心・感動・感謝の心を常に持つこと」と言っています。私も、そういう場を提供できる楽しいコーダイになるよう、頑張っていきたいと思っています。



新理事 渡邊 耕平

リタイア後66歳の時、「国際文化交流科」の受講生としてコーダイ生活を始めました。その後「家族と社会に役立つサポートデザイン科」の受講生となり、「身の回りの易しい法律」等のCDを経て6階のスタッフとなりました。本年は新理事となり「コーダイが変わる、コーダイを変える」の合言葉のもと、学習グループに所属し、受講生の方々に「社会参加活動」を身近に感じ参加していただけるよう努めたいと考えています。

## 「LINE Cafe」へのお友達登録はお済みですか？



コーダイ公式LINE  
LINE Cafe

「LINE Cafe」とは、コーダイの公式LINEの愛称です。すでに1,800名を超える受講生の皆さんが登録を済ませ、そのメリットを享受されています。

「LINE Cafe」の一番のメリットは、コーダイからの情報がリアルタイムに届くことです。コーダイの方針はもとより、休校のお知らせや緊急情報も、すぐにお届けします。また、公開講座やイベントの申し込みも、「LINE Cafe」から簡単に行えるようになっています。

お友達登録は、左のQRコードから簡単に行えますので、ぜひこの機会にご登録ください。

(情報管理部門 北川 陽子)

### QRコードの読み取り方



#### 1 カメラアプリで読み取る (iPhone)

- ① [カメラ]アプリを開き、スマホをLINEのQRコードに向け、枠内に収まるように位置を合わせる。
- ② 画面内に表示される通知をタップする。



#### 2 LINEで読み取る (iPhone/Android)

- ① [ホーム/トーク/ニュース]いずれかの画面を開き、上部の検索バー右端にあるボタンをタップする。
- ② QRコードの読み取り画面が開き、スマホをQRコードにかざすと自動で読み取る。

#### 3 Googleレンズで読み取る (iPhone/Android)



- ① Googleアプリの検索バー右側にあるカメラマークをタップする。
- ② スマホをQRコードに向けて枠内に収め、表示される通知をタップする。



#### 【ご注意】

機種等によっては、上記の方法に対応していない場合もあります。また、LINEやGoogleでQRコードを読み取るために、スマホ本体でカメラの設定が必要になる場合があります。

コーダイの  
いろんなQRコードを  
読み取ってみよう！



ホームページ



Facebook



メールマガジン



## 音楽の森を楽しむ科

CD：渡邊 裕一

「音楽の森を楽しむ科」の授業は、講師が「好きな音楽・楽器は？」と受講生全員に1分程度のヒアリング（自己紹介）をするところから始まりました。授業は2人の講師(本岡先生・上田先生)がリレー方式で毎週テーマごとに行います。ピアノ演奏・ゲスト楽器演奏・DVD視聴・講義・歌唱…と、まさに奥深く幅広く探訪できる「音楽の森」です。

人気授業は何と言っても、講師の毎回のピアノ生演奏（連弾も）。そして、年間7～8組の多彩なゲスト講師。3回に1回の授業は、ゲスト独唱・楽器演奏です。西洋音楽中心ではありますが、さまざまなジャンルの音楽をCD・DVDなどで視聴し講義を受けています。また今期は、受講生が授業ごとに「歌唱1曲」も新しい取組みです。

教室は、響き豊かな音楽専用ホール(YOSHUホール)、まさにミニコンサート会場です。音楽好きな皆さま、人生を心豊かに・癒しの一瞬（ひととき）をお楽しみいただける空間です。ぜひ一度クラスを覗いて見て下さい。



左から上田啓子先生、ゲスト講師の樋口裕子先生（バロックダンス）、本岡浩子先生。



## 似顔絵まんが科

CD：赤川 喜久江

人の顔を描くのは幼き頃のお絵描きに始まり、誰しも馴染みがあり、身近な芸術と言えるのではないのでしょうか。そういうことから誰でも取り組める講座です。

今、教室では似顔絵を描くテクニックを楽しく学んでいます。講師のラッキー植松先生のモットー「描いてたのしく、描かれてうれしく、見て面白い」を、対面似顔絵で人を笑顔にできるコミュニケーションとして実感しています。笑顔で「描かれてうれしい！」似顔絵を持って記念写真を撮りました。

「家族、知人の似顔絵を描きたい！」  
「愛犬、愛猫を描きたい！」「絵は不得手でも描きたい！」など、それぞれの目標に向かって熱心に講義を受け、似顔絵を描いています。楽しみながらも頑張る姿勢が集中力を増し、心身ともに良い影響がありそうです。

今期からは「まんがを描く」授業もあり、今後の展開が楽しみです。



対面似顔絵の授業風景





## 大阪と周辺の建築探訪科

CD：高村 眞五

明治から大正～昭和初期に建てられた洋風建築が大阪周辺にはたくさん残されています。建築探訪は各所で開催されますが、建築の歴史的背景や美的ポイントを系統だって学ぶ機会がありませんでした。この講座では、ギリシア・ローマの時代やゴシック・ロマネスクなど、中世の建築様式を学び、開国後日本や外国からやってきた建築士がそのさまざまな様式を日本の西洋建築としてどんな技法や特徴を学び建築されたかを、講師の先生からお聞きし、その建物を訪ねます。

探訪する建築物には、講師の先生方やオーナー企業様などの講座へのご理解により、内部入場できるものもあります。講座後は「名建築で昼食」「ミニ探訪」にも出かけ、10～11月開催の「生きた建築フェス大阪」「京都モダン建築祭」に参加し、日頃入れない建築物見学もします。「建築素材」「文化財保護活動」「現代の大阪建築」と違った考察を加え、建築物を見る目を養い、心豊かな1年になればと思っています。



ダイビルを探訪中の受講生



【短期講座】

## 変化し続ける地球環境を学ぶ講座

CA：平山 三千代

本講座の講師は、自然地理学・環境地理学がご専門の東京都立大学名誉教授の堀信行先生です。その趣旨は「地球上の人類の願いは、災害のない、安心・安全な人生。他方、地球は人類の時間をはるかに超えた長い時間変化し続けている。不気味ですらある地球。しかし、この地球で人類は誕生し、育まれてきた。地球を深く知ることは人類愛に繋がっていく」ことです。

講義の1コマをご紹介します。興福寺中金堂に立つ約10mの巨大柱66本は、再建時に遙かカメルーンの熱帯雨林から調達された樹。その樹は高温多湿の環境の中で、根のネットワークを通して枝の先の葉まで水分を吸い上げ、光合成を行い30～40mの高さにまで成長したのです。森林は大気から多くのCO2を吸収しO2を排出する地球環境にやさしいバイオマスです。受講生から「破壊されつつある熱帯雨林、地球環境に及ぼす影響が懸念される」「先生の現地調査を踏まえた興味深い講義に毎回魅了され学ぶ楽しさを実感する」の声が届いています。



## ローカル文化探検科



講師 浪曲師・歌手 菊地 まどか

師匠 京山小圓嬢に入門して、はや20年になりました。師匠にはまだまだ及びませんが、先代から師匠が受け継いだ古典浪曲を、次の世代に引き継いで行けますよう、大切に丁寧に継承して行く決意です。

それとは並行して、今の時代にあった心温まるお話や、近年重要度が更に高くなった防災に役立つお話などにも、積極的に取り組んでおります。最近では三味線の伴奏のみならず、ピアニスト・ヴァイオリニスト・舞踊家・漫画家等々、各ジャンルの方々とのコラボレーション浪曲や、一人語り浪曲などに



も挑戦させていただいております。

2023年は阪神淡路大震災を題材にした新作浪曲を披露すべく、現在創作中ですのでぜひご期待ください。古めかしいと思われがちな浪曲を、現代未来に生かすため、今後も色々な分野に恐れることなくチャレンジします。皆さまこれからも末永く応援を、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

## 世界の今、日本の今を知る科



講師 京都大学大学院地球環境学堂 准教授 浅利 美鈴

ごみ研究を始めて、気が付けば四半世紀です。私が所属している研究グループでは、京都市と協働して1980年から「家庭ごみ細組成調査」という調査を続けており、そこに学生の頃から加わっています。集めてきたごみを400種類以上に分類して分析していくのですが、そこからは実にいろいろなことが見えてきます。その魅力にとりつかれ、気が付けばごみを追い求めて世界中を歩き周るようになりました。

ところが、コロナで、海外に行けなくなる生活に一変。そこで、3年前からは、京都の里山での活動



世界中から留学生が集まっている研究室

も始めました。京都市の京北という地域に入り、廃校を利用して「京都里山SDGsラボ（ことず）」を開設し、SDGs・社会課題解決のための挑戦を行っています。今こうしてこの原稿を書いているのも、実は京北。昨夜は学生さんたちと蛍の美しい舞を満喫し、満ち足りた気持ちで朝を迎えています。ぜひ足をお運びください。よもやま話に花を咲かせましょう！



## カメラ芸術科

講師 写真家 平松 佑介

2013年より「カメラ芸術科」の講師を務めさせていただき、10年の月日が経過しました。現在大阪芸術大学やキャノンEOS学園で講師を務める傍ら、写真を用いた作品制作を行っていますが、昨年11月に関西では久しぶりとなる展示を行いました。一週間と短い会期でしたが初日の講演会も含め、コロナ禍で久しくお会いすることのできなかつた「カメラ芸術科」OBの方々に多数ご来場いただき、旧交を温めることができました。

写真は、文字や言葉に比べると間接的な表現媒体です。なかなか思ったようはイメージに写すことはできませんし、時として想定した作品の意図が正確に伝わらないこともあります。しかし、何かの噛み合って私の考えや思いが伝わったことが実感できる時、大きな喜びが生まれます。

誰もがスマートフォンを用いて写真を手軽に撮影できる時代となりましたが、本当の意味で写真を使いこなすには、機材の扱いと合わせて、写真が持つ根本的な力を学ぶ必要があると考えています。



壁面に飾る写真を展示台の上に並べて鑑賞してもらおう、少し変わった写真展。



## 中世史を楽しく学ぶ科

講師 奈良女子大学大和紀伊半島学研究所 協力研究員 前川 佳代

私は小学生の時に源義経と出会い、将来は義経の研究者になりたいと大学へ行って歴史を学ぶことにしました。ところが、最初は考古学を選んだので義経と直接結びつきません。卒業する頃、岩手県平泉町の柳之御所遺跡と義経が死んだとされ「夏草や兵どもが夢の跡」と芭蕉が詠んだ高館が工事で破壊されそうになりました。それは一大事と思い、発掘調査を手伝いに平泉へ毎年通い始めました。そして平泉の都市構造を復元する研究をして、博士論文を書きました。

この間に遺跡は保存され、ついに平泉は世界遺産になりました。12年前に古代甘味料の甘葛煎（あまづらせん）を大学で再現し、それ以降、甘葛煎と古代菓子を古代スイーツとして再現しています。肝心の義経は？というと、2015年に義経の本を一冊出しました。これまでの平泉研究も古代の食の研究もすべては義経を知るための試みです。どんなところでどんな食べ物を食べて強くなったのか？私の義経研究に終わりはありません。



平泉町高館義経堂にて義経とのツーショット

## カメラ芸術科 (2022年度受講生)



「夏の日々の涼」 中村 純彌

関西空港対岸のりんくう公園は泉南地域の憩いの場です。夕刻に涼を求めて散策と噴水の撮影を行いました。空港に沈む赤い夕日は安らぎを感じさせます。



「朝練の輝き」 西村 公雄

昨年8月末、加茂大橋下で出会った早朝練習中のワンシーン。川面に響く音色に感動し、思わずシャッターを切った。

## 旧 IT・デジタルフォトアート科



「ホットな時間」 竹内よう子

ラインカメラのコラージュ機能を使って、カレンダーを作りました。コラージュは簡単に思い出づくりを楽しめます。



「真っ赤な一日」 阪田 啓子

「LINE Camera」の技法を幾つか使い作品を作り上げました。高野山はどこを歩いても“まっかっか”でした。

## 油彩画応用科



「花の丘（万博記念公園）」 松下 勝一

EXPO'70から半世紀余り、当時の会場は樹木が成長し、自然文化圏となって人々の憩いの場所となっています。

## デッサンから学ぶ油彩画科



「大涌谷」 山本 吉平

箱根の大涌谷を空中散歩。荒涼とした大地と噴煙や硫黄を描きました。

## 似顔絵まんが科



「おもしろい明石家さんま」 小松 賢郎

面白いを表現にするため意識的に大きく変形して描きました。描いて楽しく描かれてうれしく見ておもしろい、を目指してこれからも描きます。



「サッカーワールドカップ」 村主 正夫

あっと驚かせたサッカー日本代表。手汗握る方々を似顔絵で表現しました。楽しかったです。

## 脳とカラダの老化予防に良いこと

### 書くことを生活の中にとり入れよう

夜寝る前に「5行日記」で今日一日をリセットしましょう。文字を書くことが習慣化している人は、脳の老化を予防するそうです。私は、就寝前の1分を活用して「5行日記」を書いています。

テーマを決めておくとずっと続けられます。

ちなみに私の日記のテーマは「その日一番楽しかったこと」です。みなさんも始めてみませんか。



### 片足立ちにチャレンジしよう

いつでも、どこでも、誰でもできる「片足立ち」を始めてみませんか。

1日3回（朝・昼・晩）、左右の足「1分間の片足立ち」は、理論的に約50分歩いたのと同じ効果があるそうです。

右の写真のように、両手を広げて、視線を泳がせない。そして、足の親指に「グッ」と力を入れます。くれぐれもすぐにつかまれる安全な場所で実施しましょう。



### おすすめの映画

## 『銀河鉄道の父』 監督・成島 出 (128分)

「雨にもマケズ、風にもマケズ……」 ご存じ、詩人、宮沢賢治とその父、政次郎の強い絆で結ばれた親子の、一言で言えば、“ダメ息子 VS 親バカ”物語。誕生から37歳で死ぬまでの短くも濃密に生きた時間を再現。二人の強烈なキャラを演じる役所広司、父親の溺愛ぶりは滑稽でユーモラス。他方、菅田将輝の繊細でひりひりするような賢治の魂の渾身の演技が見事！

何となく抱いていた貧乏な苦勞人というイメージの賢治だったが、実は裕福な地方の老舗のボンボンだった！ そんな環境の中で、賢治は病弱ながらも自分の理想を追求しようとする。あまりにも常識外れな行動にあっけにとられながらも家族は温かく見守る。殊に妹は兄の才能を信じて、日本のアンデルセンだと勇気づける最強の読者だった。そんな妹の突然の死は衝撃的だった。賢治の中に変化が出てくる。現実的になって周りの貧しい農民たちの力になろうと真剣にその道を探す。

(朗読を楽しむ科 徳野美代子)

### 川柳広場

#### コーダイ夢追い人の会

川柳好きの仲間が、コーダイに想いを寄せる句、人生模様を表す句を作りました。

コーダイの地域貢献居酒屋で

杉本敏夫（総合文化に親しむ科OB）

晩学の出会い全てが師となりて

福田弘子（総合文化に親しむ科CD）

亡き妻にライン送って夢で待つ

渡来和行（身の回りに関する法律を

易しく学ぶ科）



# 街歩き 『浪花百景』で江戸時代の大坂の町の姿を楽しむ

ディスカバー大阪まち歩き探訪科 中村 晴彦

聖徳太子ゆかりの四天王寺（してんのうじ）は、『日本書紀』によると推古天皇元年(593年)に造立が開始されたと言われ、奈良の法興寺（飛鳥寺）とともに日本最古の官寺。区名や駅名などに使われる「天王寺」は四天王寺の略称です。

この『浪花百景』の中の「四天王寺」は、江戸時代末期に描かれ、手前の石鳥居(重要文化財)は1294年に建立されたもの。春と秋の彼岸の中日の夕刻には、奥の極楽門から石鳥居に向かって沈む夕陽を見つめ、お経を唱えて彼方の極楽浄土を念じる「日想観（じっそうかん）」という修行が行われています。

絵の後方の五重塔は6代目ですが、1934年9月の室戸台風で倒壊、1940年に再建された7代目も1945年3月の第1回大阪大空襲により、わずか5年で伽藍とともに焼失。現在の8代目は1959年、鉄筋コンクリート造りの耐震・耐火構造で飛鳥時代の形に再現されました。

このように四天王寺は度重なる戦火や災害に見舞われながらも、その都度復興を遂げてきたのは、それぞれの時代の人々が聖徳太子への厚い信仰心を持ち続けた賜物と言えるかもしれません。鳥居上部の扁額（へんがく）には「釈迦如来 転法輪処 当極楽土 東門中心」とあり、釈迦如来が仏法を説いている場所で、ここが極楽浄土の東の入口という意味。四天王寺は、古来極楽往生を念じる聖地でした。



「四天王寺」南粋亭芳雪画  
1800年代 大阪市立中央図書館蔵



現代の四天王寺  
(2023年5月24日撮影)

## 編集後記

来る夏休みにお勧めの一冊、坂東眞理子著「70歳のたしなみ」をご紹介します。

この本には、品格ある高齢期を生きるためのヒントが多々示されていますが、その一つに「年齢を言い訳にしない。今さら、どうせ、もう遅い、と言わないで、まだまだ成長の余地があると考えよう」を挙げています。

そして「おしゃれを忘れず、人に少しでも役立つように行動する。それが高齢者のたしなみである」とアドバイス。

人生100年時代に向かう今、改めて自分たち自身が自尊心を持って生きていくためには自身の心の持ち方、すなわち「たしなみ」が必要ではないかと、教えられました。



集まること  
気遣うこと  
おしゃべりすること  
それが、中楽坊。

CHU  
RAKU  
BOU  
**中楽坊**

シニア向け分譲マンション

いつまでも  
いつかは



ホームページにて詳しい情報をご覧ください

中楽坊

検索

<中楽坊> LINE 公式アカウント

豊かなシニアライフのための  
情報をお届けしています。



友だち追加はこちら→

シニア向け新築分譲マンション・供給戸数 関西圏NO.1※

# 60歳からの生き方が変わる。

老人ホームでも、一般マンションでもない、〈中楽坊〉という“終の棲家”。

天然温泉・大浴場 | お抱えシェフのいるレストラン | 専用送迎バス | 24時間緊急時対応 | きめ細やかな生活支援 | 自宅への訪問・医療介護 |

※1.関西圏において2008年4月以降に分譲されたシニア向け新築分譲マンションのなかで、マスターズマンションシリーズが供給戸数No.1となります。(2022年9月MRC調べ)

現在分譲中の〈中楽坊〉シリーズ

兵庫県西宮市

苦楽園 中楽坊

☎.0120-123-471

大阪府吹田市

吹田千里丘 中楽坊

☎.0120-800-321

滋賀県大津市

おおみ路 中楽坊

☎.0120-290-540

兵庫県神戸市

神戸ジェームス山 中楽坊

☎.0120-007-870



## 中楽坊 情報館 大阪淀屋橋

高齢期の暮らしに大切な“気づき”が得られる



大阪市中央区伏見町四丁目2番14号  
WAKITA藤村御堂筋ビル 地下1階

大阪メトロ御堂筋線「淀屋橋駅」  
「13番出口」を出て南側すぐのビル地下1階

開館時間 / 平日:10時~17時(休館日/土日祝)

☎.0120-955-417